

## トーン（色調）

## 1 トーン（色調）とは

トーンは、明度と彩度を合わせた考え方。

各色相で最も彩度の高い色を純色と呼ぶ。

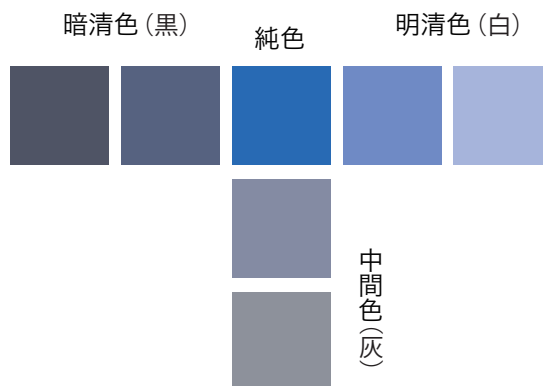
純色に白、黒、グレイを混ぜて多彩な色を作り出す。

白を混色（明清色調）：ソフトな印象の色。

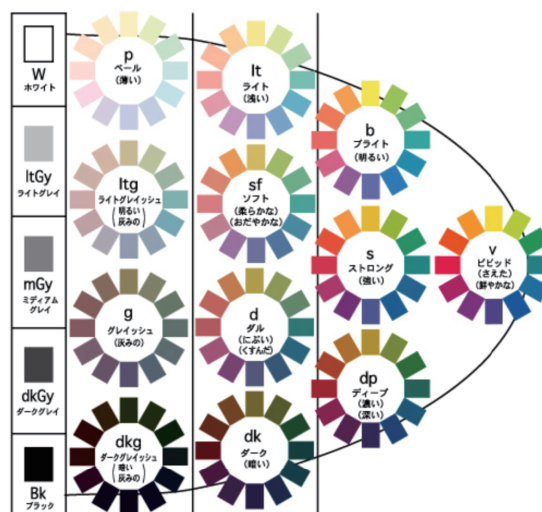
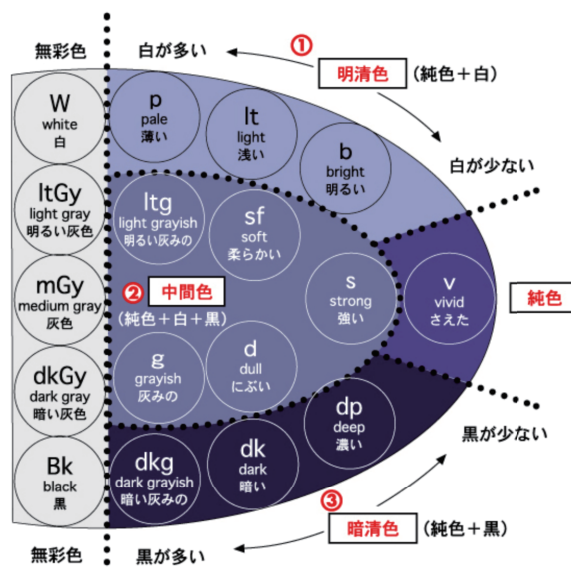
黒を混色（暗清色調）：力強く重厚な印象の色。

グレイを混色（中間色調・濁色）：渋みのある落ち着いた印象の色。

PCCS（日本色研配色体系）では、トーンに対して「ビビッド／さえた」、  
「ソフト／柔らかい」など、感覚に近い表現を定めている。



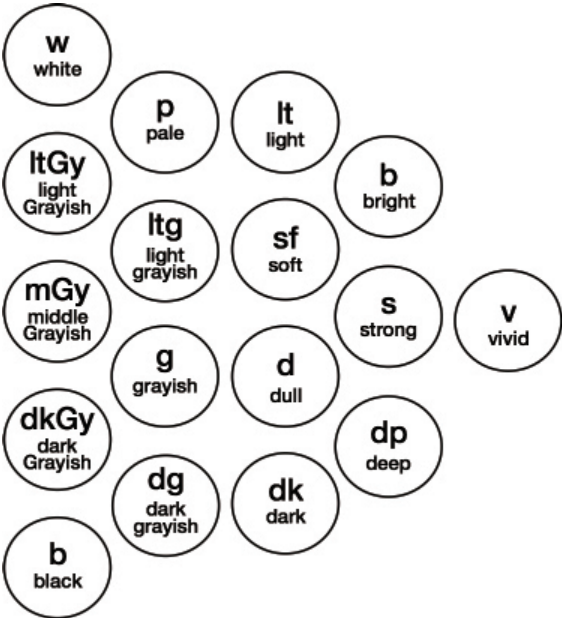
PCCS（日本色研配色体系）では、トーンに対して「ビビッド／さえた」、「ソフト／柔らかい」など、感覚に近い表現を定めている。



トーン（色調）

2 トーンを理解する

【PCCS のトーンチャート】



※ PCCS：日本色研配色体系（Practical Color Co-ordinate System）

トーン	トーンのイメージ
vivid（ビビッド）	
bright（ブライト）	
light（ライト）	
pale（ペール）	
strong（ストロング）	
soft（ソフト）	
light grayish（ライトグレイッシュ）	
dull（ダル）	
grayish（グレイッシュ）	
deep（ディープ）	
dark（ダーク）	
dark grayish（ダークグレイッシュ）	
White（ホワイト）	
Gray（グレイ）	
Black（ブラック）	

## 理論に基づく配色

**2** ジャッドの色彩調和の一般原理のつづき**3** 類似性の原理（共通性の原理）

▶色相の統一（PCCS の場合）

**1** ドミナントカラー配色**2** トーン・オン・トーン配色

▶色相とトーンの両方を統一（PCCS の場合）

**6** カマイユ配色**7** フォカマイユ配色

▶トーンの統一（PCCS の場合）

**3** ドミナントトーン配色**4** トーン・イン・トーン配色**5** トーナル配色

## 理論に基づく配色

---

### 2 ジャッドの色彩調和の一般原理

---

#### ④ 明瞭性の原理

▶トリコロール配色

▶ビコロール配色

▶ハレーション

▶セパレートカラー

## イメージを表現する配色

## 1 温度

①暖かい（暖色）

②寒い（寒色）

③中性色

## 2 重さ

①軽量感

②重量感

## 3 柔らかさと硬さ

①柔らかさ

②硬さ

## 4 進出と後退・膨張と収縮

①進出

②後退

③膨張

④収縮

## 5 地味と派手

### ①地味

### ②派手

## 6 興奮と沈静

### ①沈静

### ②興奮

## 配色と面積比率

### 1 面積比率

美しい配色になりやすい比率（数値は目安。）



#### ①ベースカラー

全体のイメージを決定。背景色となることが多い。

#### ②メインカラー

ベースカラーを補い、対象のイメージを強める。

#### ③アクセントカラー

明度や色相差が大きい対照的な色で、注目を集め、配色を引き締める。

同じ色の組み合わせでも、それぞれの使用する面積の比率が変わると、受ける印象は大きく変化する。

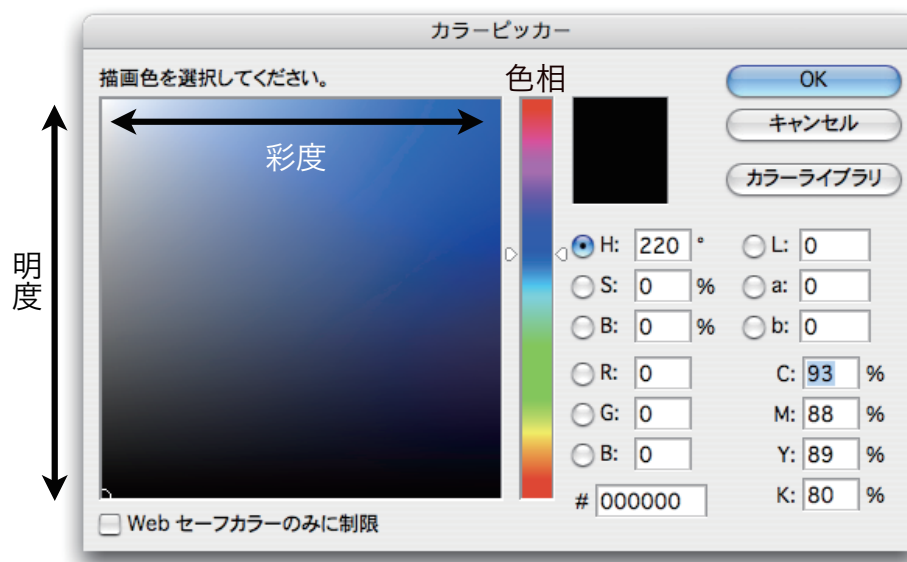
4色以上の配色の場合、増やしたい部分を分割する。

ただし、分割し過ぎてベースカラーの1色がメインカラーより少なくならないようにする。

また、色数が増加するほど配色を調和し、まとめるのが難しくなるので、注意が必要。

**【演習】 配色してみよう！****1 色を調和させる方法を試してみよう****① 色相・明度・彩度で考える。**

カラーピッカーを利用して、3つの要素のうち1つだけを変えてみる。

**② インクの量、光の量を等しくする。**

最終的には、印刷物は CMYK のインクで、Web では RGB の光で色が表現される。CMYK の数値の和はインクの量を示し、RGB の数値の和は光の量を示す。

**2 ポストカードの配色を考える**